

前田小 ICT 研究通信

あきる野市 ICT 活用研究推進校 令和4年5月 No.6

ICT の活用を通して、 すすんで学び合える児童の育成

第5回 校内研究授業 算数「分数のかけ算を考えよう」

授業者 第6学年2組 教諭

★研究主題に関わる児童の姿と、ICT 活用の具体的な手立て



☆授業支援ソフトによる思考の整理☆

単元を通して、授業支援ソフトのミライシード「オクリンク」に数直線図を貼り付けて送り、タブレット上で数や印を書き入れて完成させながら、立式できるように指導した。数直線図だけを記載したカードを送ったので、児童が視点を絞りやすくなり、検討場面で焦点化しやすくなった。また、カードを示しながら説明ができるので、伝え合ったり学びあったりする意欲付けにつながった。教師も児童の考えを集約し、意図的に並べ替えて全体共有ができるので、分類整理がしやすくなった。



☆児童同士の見方・考え方の比較☆

オクリンクの提出ボックスに、児童それぞれの考えが集まるので、早く提出した児童は、友達のカードを見て同じ考えや異なる考えを確認しながら、思考を深めることができた。また、自分の考えがなかなかまとまらなかった児童には、ヒントカードとして、自力解決の助けになっていた。

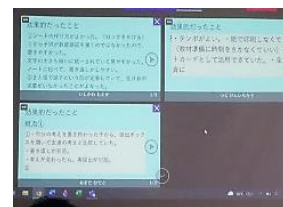
第1回 校内研究授業を終えて

オクリンクを自力解決の場面で使うことで、自分の考えがなかなかまとまらなかった児童も、友達のことを参考にしながら取り組めるようになり、全員に考えをもたせることができた。全体での練り上げ場面では、それぞれのカードを教師が分類整理しながら示すことで、いくつかの考えを比較しながら、児童の気づきを促すことができた。

協議会で、「誤答から学ばせたい場面などに、提出者名を非表示にする配慮はできないか」という意見には、同席していた業者の方から、児童名を表示しない新たな提示方法を教えてもらった。教師目線に立った授業支援ソフトの活用方法について意見交換し、今後の授業ですぐに活かせるスキルを共有することができた。



児童全員の考えが集まった提出ボックス



協議会での視点に沿った意見集約